



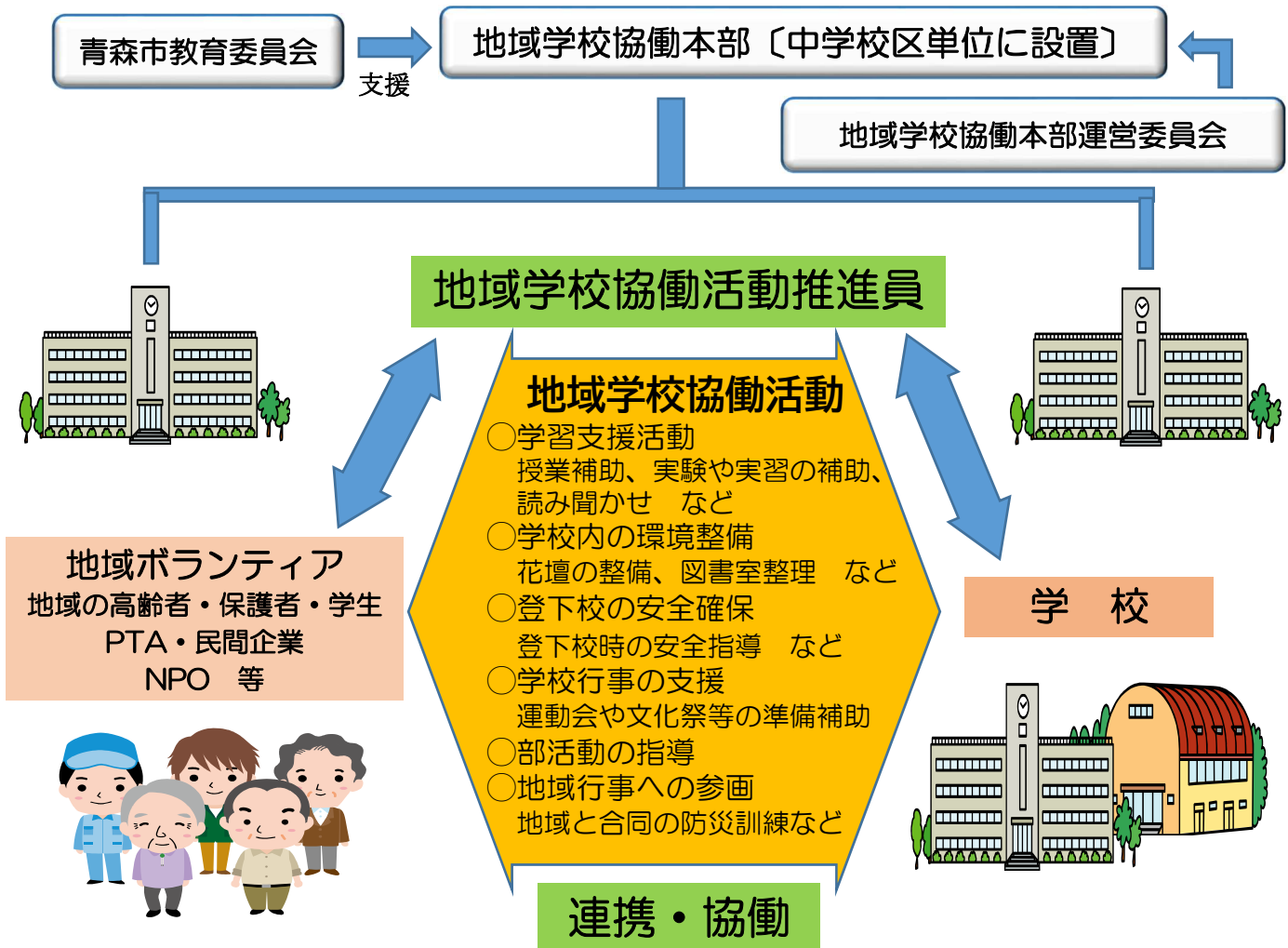
発行：青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課
〒030-0801 青森市新町1丁目3-7
TEL：017-718-1376 FAX：017-718-1371
E-mail：bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp

令和3年度 地域学校協働活動が始まりました

本年度の地域学校協働活動（以下協働活動）はコロナ対策を取りつつ4月からの開始となりました。地域学校協働活動推進員（以下推進員）の皆さんには、子どもたち、そして地域ボランティアの方々の健康と安心に配慮しながら活動を進めていただきありがとうございます。

昨年度の学校訪問の際にお伝えしましたが、「地域学校協働活動」への名称変更に伴い下の図に示した通りいくつかの内容が変更となりました。従来の学校支援活動を基盤とし、地域との連携をより深めていくことを目指しています。推進員の皆様にはそれぞれの地区での活動をより充実させ、様々な場面で学校と地域との連携・協働を進めていただきたいと思います。

なお、令和3年度の地域学校協働活動に関するご質問・ご確認につきましては、随時担当までご連絡（☎017-718-1376）いただければと思います。



子どもの学びを支える地域と学校との協働体制



浪打小学校では、昨年度、コロナ感染対策を取りながら、学習支援活動として各学級で使用する学習プリントの印刷ボランティアに取り組んでいました。加えて、ミシンやスキー教室をはじめとする授業支援活動も積極的に実施していました。

今回は、浪打小学校校長室にて赤坂校長先生と佐藤えり推進員から、今年度の協働活動についてお話を伺うことができました。子どもたちのために、地域と連携して活動を進めていく熱意をお二人から強く感じました。その取組内容をご紹介します。

浪打小学校の取組（地域と連携した多様な支援活動）



赤坂校長先生と佐藤推進員

無理をしないで

コロナ感染対策を踏まえ、ボランティア活動にも無理がかからないように配慮してきました。地域ボランティアの皆さんにはご高齢の方もいるため、従来の人数を確保するというよりも、必要最小限のボランティア参加を考え、やれる範囲での支援活動を実施しています。昨年度は、結果的に多くの活動を実施することができました。今年度もその方針で進めています。

感謝の気持ちをもって

浪打小学校では年間の協働活動を計画する際、4月に各学年の先生方から1年を通して支援が必要な活動のアンケートを取り、それを基に佐藤推進員が保護者や地域にボランティアを募っています。実施時期が近付くと、推進員は支援する活動ごとに学年と直接打ち合わせ、ボランティアに内容を伝えるとともに、学年には当日参加するボランティアのお名前を事前に伝えています。児童が活動後に書く感謝の手紙等は個人名で送るようにしており、それが参加するボランティアの皆さんにとって元気とやる気の源になっているそうです。また、活動実施の際には、校長先生・教頭先生・教務主任が活動場所へ出向いて感謝の言葉を伝えたり、時間のある時は活動後に校長室へ招いて懇談したりするなど、支援への感謝を様々な形で伝えるようにしています。

さらに地域と連携して

今年度は、中学校区の浪打中学校と合浦小学校の3校で連携した活動を進めています。5月には地区3校の児童と各町会の皆さんが協力して地域の公園や海岸の清掃を行いました。地域学校協働活動の内容に「地域行事への参画」が示されていますが、浪打中学校区でも地域と学校の連携協力により、さまざまな活動に取り組んで行こうとしています。



昔の遊び活動への支援の様子



印刷室に設けられた専用の棚とボランティアの活動チェックリスト

プリント印刷支援ボランティアの取組

浪打小学校では、昨年度よりボランティアによるプリント印刷の学習支援活動が行われています。週に1回、午前中の1時間程の時間で学級担任から依頼された学習プリントを印刷しています。

印刷室に専用の棚を確保し、学級担任が必要枚数などを記入した用紙とプリント原版をクリアファイルに入れて棚に入れておくと、来校したボランティアが確認し、印刷物を棚に戻しておくという手順が定着し、スムーズに活動が進められています。この支援活動が、先生方の子どもたち一人ひとりと向き合う時間をより多く確保することにつながっています。